

第4期 第7回麻生区区民会議 議事要旨

1 開催日時 平成26年2月17日（月）午後3時～午後4時34分

2 開催場所 麻生区役所第1会議室

3 出席者 [委員]

菅原委員長、石井副委員長、東川副委員長、金光委員、菅野委員、村主委員、高倉委員、高瀬委員、高橋（慶）委員、高橋（庸）委員、武濤委員、田中委員、長谷川委員、矢野委員、山田委員、吉田委員
(欠席) 加賀美委員、梶委員、久保倉委員、横山委員

[参与]

月本参与

(欠席) 雨笠参与、尾作参与、勝又参与、木庭参与、花輪参与、山崎参与、相原参与、吉田参与

[事務局]

鈴木課長、白石担当係長、佐伯、藤江、麻生

[関係者]

多田区長、中山副区長、安藤区民サービス部長、浅見保健福祉センター所長（医監）、大西副所長、こども支援室小林室長、道路公園センター澁谷所長、杉山総務課長、田中地域振興課長、猪瀬生涯学習支援課長、山田危機管理担当課長、

4 傍聴者 1人

5 議事 報告事項

(1) 安全・安心のまちづくり部会の検討経過報告及び意見交換について

村主委員（安全・安心のまちづくり部会・部会長）が資料をもとに説明し承認を得た。

- ・テーマ「大地震から助かる命を守る」のもと、「家屋の倒壊防止」「家具の転倒防止」「火災予防・火事の発生への対応」の3つの最優先テーマを設け、その中の家具の転倒防止に重点を置いて、モデル事業を実施した。
- ・モデル事業は、戸建て13戸（2世帯住宅2戸含む）、マンション系6戸の合計19戸を対象に11月から12月にかけて実施した。
- ・モデル事業を通じて、どういう形で普及啓発すればいいのかアイデアを得ることができた。
- ・2月までに課題の整理を行い、その後の普及啓発資料の作成、提言につなげていく。確定はしていないが、関係者向けにモデル事業の報告会の開催を検討している。

モデル事業のまとめについて

- ・一戸当たり、事前調査と工事実施併せて3～4時間実施し、世帯の意向を確認しながら、丁寧に実施した。
- ・工事の実施のしやすさ、お金、安全性の折り合いを付けながら、家具の状況に応じて、取り付け方法を提案した。
- ・単に取り付け工事を行うのではなく、協力世帯の家族へも、安全な住まい方を考えるきっかけを提供した。
- ・家具の取り付けについて、コミュニケーションをとれる施工者が必要であるということがわかった。
- ・モデル事業を通して、子供や孫など自分以外の誰かの安全を確保したいという意識が、防災対策への関心を高めるための1つの動機になることがわかった。
- ・もともと防災対策への関心の高い世帯を行動に結びつけるためには、具体的な施工方法を周知することが効果的であると分かった。
- ・アンケート結果では、自助の対策の他、地域における共助の取組も重要だという提案も頂いた。

(主な意見)

- ・目黒教授がフォーラムで紹介した、牛乳パックを使用したハニカム構造による家具固定方法はどうか。
 - 食器棚に牛乳パック20個使用して、天井と食器棚の20cmの間に詰めてみた。頑丈に固定されていたと思う。
 - ←具体的にどの程度の強度があるか測定はしたのか。
 - 測定はしていないが、実際に手でゆすってみて、動かなくなったので、十分効果はあると思う。ただ、見栄えが良くない。
- ・資料の表現の中で、「対象世帯は、もともと耐震への関心が高かったが、一般区民への普及啓発の際には関心度を低く設定して考える必要がある」と記載されているが、どのような考え方が、又、普及啓発資料の作成とあるが、パンフレットにするか、冊子にするか、どのように考えているのか。
 - モデル事業の世帯は関心の高い人が多かったが、一般向けの普及啓発は関心と呼ぶ段階にもウエートを置き、すぐにできるような方法を示したい。
 - 普及啓発資料は、パンフレットにするか、市政日より特別版にするか、検討している段階だが、手元に残るような形にしたい。

(2) 若者が住みたくなる魅力あるまちづくり部会の検討経過報告及び意見交換について 石井部会長が資料をもとに説明し、承認を得た。

- ・子育てしやすい環境づくりについては、子育て支援団体等へのヒアリングから課題を抽出し、その解決の糸口として子育てフェスタを実施する。
- ・芸術文化のまちづくりについては、市の動向を確認しながら、提言の方向性を固めていく。

子育てフェスタについて

- ・4月13日、10時半～15時区役所、保健所予防接種ホール、レストランあさおで開催する。
- ・内容は、昭和音大のミニコンサートやフリーマーケットなど。また、子育て関連団体24団体が参加し、催しやポスターを展示する。
- ・各会場ごとに、部会の委員が張り付いて対応する。10時30分から予防接種ホールにて委員長と区長の挨拶を行い、イベントをスタートする。
- ・アンパンマンの上映は2回上映する。アルテリッカのボランティアグループも参加し、人形劇などが行われる。その他にもおもちゃ工作や絵本コーナー、相談コーナーを企画している。

(3) 企画部会の検討経過報告及び意見交換について

金光委員（企画部会・部会長）より区民会議報告書の説明と併せて、企画部会の報告がなされ、承認を得た。

- ・区民会議ニュース第5号を今回発行する。子育てフェスタの開催案内が1面で、2面は安全・安心のまちづくり部会のモデル事業報告となる。
- ・子育てフェスタの広報は、区民会議全員でチラシ配布等を行う。子育てフェスタの中に区民会議のブースを設け、参加者に向けてPRを行う。
- ・報告書について、第3章まで作成中である。第1章に区民会議の概要、第2章に区民会議の選定から報告までの流れ、第3章に各部会の検討経過、第4章にフォーラムとフェスタの報告、第5章に提言と振り返りを掲載する。
- ・第2章では、データに基づき課題を選定した経過について、重点的に記載している
- ・第3章の企画部会のページでは、区民会議の運営、広報広聴活動を中心に、その役割について掲載している。
- ・第5章の提言は1ページでわかりやすい形でまとめる。
- ・今後の報告書作成のスケジュールとして、子育てフェスタ後の5月12日に合同部会（勉強会）を開催し、意見を出し合って、修正を加える。5月の全体会議で最終的な報告書（案）を提出する。

(主な意見)

- ・あさお子育てフェスタで1,000人の集客があれば、区民会議の認知度が22.2%から29%と、約6%ほどの上昇が期待できる。この数値は、市全体の19.4%よりも10ポイント高い数値。ただ、条件として、チラシ等に区民会議の文字を目立たせて記載する必要がある。
- フェスタでは、入り口の看板に区民会議の文字を必ず入れるよう確認してある。区民会議のニュースでも宣伝するので少なくとも町会を通して多くの人の目には触れる。

(4) 事務局より1月27日に開催された第1回区民車座集会について報告がなされた。

(5) 参与、区長の感想